



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
コード番号 6419 URL <https://www.mars-ghd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 丈治 TEL 03-3352-8555
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,678	△36.0	2,425	△50.4	2,862	△46.2	1,952	△47.2
2025年3月期第1四半期	13,563	62.2	4,893	75.5	5,320	69.6	3,698	66.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,253百万円 (△32.5%) 2025年3月期第1四半期 3,336百万円 (△1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	105.86	—
2025年3月期第1四半期	204.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	87,271	79,100	90.6	4,289.01
2025年3月期	87,000	78,230	89.9	4,241.83

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 79,100百万円 2025年3月期 78,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	120.00	—	75.00	195.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年3月期における第2四半期末配当金には、創立50周年記念配当が50円含まれております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,200	△32.7	4,600	△42.5	5,000	△41.0	3,400	△33.7	184.36
通期	37,500	△11.2	10,700	△13.2	11,500	△12.1	7,800	△10.5	422.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	22,720,000株	2025年3月期	22,720,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,277,415株	2025年3月期	4,277,415株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	18,442,585株	2025年3月期1Q	18,090,789株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、好調なインバウンド需要を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の動向や地政学的リスク等の影響による世界的な景気後退リスクの高まり、物価上昇の継続による個人消費への影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、スマートソリューション関連事業、ホテル・レストラン関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高86億78百万円（前年同期比36.0%減）、営業利益24億25百万円（同50.4%減）、経常利益28億62百万円（同46.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億52百万円（同47.2%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主要販売先であるパチンコ業界では、人件費や光熱費の高騰、設備更新や省力化対応に伴うコストの増加により、ホール経営は厳しい状況が続いておりますが、大手チェーンを中心としたM&Aが加速し、業界の二極化がより鮮明となっております。一方で、スマート遊技機は、新たなスペックや多様なゲーム性、利便性の向上により若年層を中心に支持を集めて普及が進んでおり、減少傾向にあった参加人口は持ち直しつつあります。また、2025年7月以降、スマートパチンコにおいて新たなゲーム性を有した遊技機の導入が予定されており、今後の市場活性化にも期待が高まっております。

このような市場環境の中、当社グループは、「EVOALL（エヴォール）シリーズ」を中心とした豊富なラインナップを武器にトータルシステムでの提案・販売に注力しました。本シリーズは、スマート遊技機専用ユニット、セルフ交換機、POSシステム、クラウドサービス等で構成され、利便性・効率化・省力化を追求したトータルソリューションとして、パチンコホールの収益性向上と顧客満足度向上に寄与し、着実に導入を伸ばしています。

当第1四半期連結累計期間におけるプリペイドカードシステム（パーソナルやスマート遊技機専用ユニットを含む）の売上実績は7店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,399店舗（市場シェア23.8%）となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、66億74百万円（前年同期比43.1%減）、セグメント利益は24億78百万円（同49.5%減）となりました。

[スマートソリューション関連事業]

主要販売先である自動認識システム業界は、バーコードやRFIDを活用した製品トレーサビリティや在庫管理の効率化により、小売業、製造業、物流業、医療分野等の幅広い領域での導入が進んでおり、今後も新技術の普及や用途拡大に伴う市場成長が期待されております。

当社子会社である株式会社マーストーケンソリューションでは、主要分野である製造・物流・医療領域を中心に、AIやIoT技術を活用した製品・ソリューションの開発・販売に注力してまいりました。AI画像認識システム「VisAI（ビズアイ）シリーズ」は、目視検査や読み取り業務の自動化・効率化に寄与するシステムであり、拡販に努めてまいりました。

当社子会社の株式会社マースウインテックでは、IoT対応の冷蔵物販自販機や無人チェックイン端末等、省人化・無人化を実現する「Infinity Station（インフィニティステーション）シリーズ」の開発・販売を推進してまいりました。中でもIoT対応の冷蔵物販自販機は、多様なニーズへの対応力が評価され、食品・飲料・アパレル業界などでの導入が進みました。今後、更なる市場拡大に向けた販売強化を図ってまいります。

この結果、スマートソリューション関連事業の売上高は、13億24百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は79百万円（同42.3%増）となりました。

[ホテル・レストラン関連事業]

ホテル業界及び外食業界においては、円安の継続を背景としたインバウンド需要の拡大に加え、国内観光やビジネス需要の回復により、宿泊・外食ともに堅調に推移しました。一方で、深刻化する人手不足や人件費の上昇、物価高に伴う食材・エネルギーコストの増加に加え、主要観光地におけるオーバーツーリズムへの対応等が課題となっております。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」ではビジネス客を中心にインバウンド需要を取り込んできました。「マースガーデンウッド御殿場」では、2025年10月に迎える開業15周年に向けて、周年イベントの開催や

限定プランの販売などの取り組みを進め、7月から新しいテレビCMの放映を開始いたしました。御殿場の自然環境と調和したホテルの魅力を広く発信することで、今後も新規顧客の獲得とブランド認知の向上に注力してまいります。

レストラン事業では、東京・銀座エリアの「銀明翠GINZA」及び「銀座松月」を中心に、食材にこだわった季節限定メニューや高付加価値なサービスの提供等、収益性の両立と顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、SNSによる情報発信を通じて集客の強化を図ってまいりました。

この結果、ホテル・レストラン関連事業の売上高は、6億79百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は28百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は872億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億71百万円増加いたしました。

流動資産は513億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億12百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、現金及び預金が9億4百万円減少し354億69百万円となりました。

固定資産は358億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億83百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が6億38百万円増加し167億51百万円、土地が3億75百万円増加し104億48百万円となりました。

流動負債は50億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億56百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が10億5百万円減少し7億78百万円となりました。

固定負債は31億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億56百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、繰延税金負債が3億1百万円増加し11億98百万円となりました。

純資産は791億円となり、前連結会計年度末と比較して8億70百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が5億69百万円増加し635億61百万円、その他有価証券評価差額金が2億97百万円増加し57億42百万円となりました。

自己資本比率は90.6%となり、前連結会計年度末と比較して0.7ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は354億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億4百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は11億52百万円の収入（前年同四半期は13億24百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益28億62百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は7億2百万円の支出（前年同四半期は5億77百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出5億37百万円、投資有価証券の取得による支出2億6百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は13億43百万円の支出（前年同四半期は8億45百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額13億43百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,373,416	35,469,373
受取手形及び売掛金	4,205,323	4,633,149
リース債権及びリース投資資産	329,870	324,263
有価証券	350,120	350,540
商品及び製品	4,632,978	4,677,705
仕掛品	234,076	306,789
原材料及び貯蔵品	4,052,318	3,674,603
その他	1,887,903	1,956,161
貸倒引当金	△61,224	△362
流動資産合計	52,004,781	51,392,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,791,797	5,850,483
土地	10,073,054	10,448,417
その他（純額）	407,874	428,881
有形固定資産合計	16,272,727	16,727,782
無形固定資産	470,780	502,894
投資その他の資産		
投資有価証券	16,113,027	16,751,837
その他	2,344,844	2,101,889
貸倒引当金	△205,264	△204,724
投資その他の資産合計	18,252,606	18,649,002
固定資産合計	34,996,114	35,879,679
資産合計	87,000,896	87,271,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,627,607	2,298,558
リース債務	182,266	185,007
未払法人税等	1,783,724	778,035
賞与引当金	490,334	246,275
その他	1,912,346	1,532,364
流動負債合計	5,996,279	5,040,240
固定負債		
リース債務	362,315	380,098
役員退職慰労引当金	181,335	186,135
退職給付に係る負債	307,889	318,920
資産除去債務	62,387	62,507
その他	1,860,427	2,183,656
固定負債合計	2,774,355	3,131,317
負債合計	8,770,634	8,171,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	10,286,972	10,286,972
利益剰余金	62,991,949	63,561,042
自己株式	△8,513,509	△8,513,509
株主資本合計	72,699,512	73,268,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,444,926	5,742,063
退職給付に係る調整累計額	85,822	89,675
その他の包括利益累計額合計	5,530,749	5,831,739
純資産合計	78,230,262	79,100,344
負債純資産合計	87,000,896	87,271,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	13,563,129	8,678,239
売上原価	6,583,009	4,120,711
売上総利益	6,980,119	4,557,527
販売費及び一般管理費	2,086,199	2,131,935
営業利益	4,893,919	2,425,592
営業外収益		
受取配当金	386,585	312,894
その他	40,357	134,830
営業外収益合計	426,942	447,724
営業外費用		
為替差損	—	10,993
営業外費用合計	—	10,993
経常利益	5,320,862	2,862,323
特別利益		
投資有価証券売却益	27,194	—
特別利益合計	27,194	—
税金等調整前四半期純利益	5,348,057	2,862,323
法人税、住民税及び事業税	1,372,355	745,502
法人税等調整額	277,295	164,535
法人税等合計	1,649,650	910,037
四半期純利益	3,698,406	1,952,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,698,406	1,952,286

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,698,406	1,952,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△357,835	297,136
退職給付に係る調整額	△3,734	3,853
その他の包括利益合計	△361,569	300,989
四半期包括利益	3,336,836	2,253,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,336,836	2,253,275

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,348,057	2,862,323
減価償却費	168,085	136,442
引当金の増減額 (△は減少)	△449,346	△300,660
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△5,539	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	11,031
受取利息及び受取配当金	△386,585	△312,894
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27,194	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,270,728	△427,826
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	37,522	△10,266
棚卸資産の増減額 (△は増加)	672,148	260,275
営業貸付金の増減額 (△は増加)	10,419	45,628
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,262	670,950
リース債務の増減額 (△は減少)	△20,412	20,524
その他	429,724	△402,496
小計	4,518,412	2,553,032
利息及び配当金の受取額	386,585	312,894
法人税等の支払額	△3,580,087	△1,713,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,324,910	1,152,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△534,754	△537,340
投資有価証券の取得による支出	△107,733	△206,731
投資有価証券の売却による収入	56,872	—
その他	8,218	41,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△577,397	△702,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	733,847	—
配当金の支払額	△1,570,414	△1,343,329
その他	△9,250	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845,817	△1,343,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,660	△10,947
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△83,643	△904,042
現金及び現金同等物の期首残高	29,353,869	36,373,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,270,225	35,469,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	スマート ソリューション 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	11,727,491	1,208,153	627,484	13,563,129	—	13,563,129
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	135,135	6,995	7,535	149,666	△149,666	—
計	11,862,627	1,215,149	635,019	13,712,796	△149,666	13,563,129
セグメント利益	4,907,424	56,030	18,740	4,982,195	△88,275	4,893,919

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,275千円には、セグメント間取引消去3,487千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△91,762千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	スマート ソリューション 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	6,674,015	1,324,724	679,499	8,678,239	—	8,678,239
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	109,783	6,493	8,134	124,411	△124,411	—
計	6,783,798	1,331,218	687,633	8,802,650	△124,411	8,678,239
セグメント利益	2,478,991	79,752	28,037	2,586,781	△161,189	2,425,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△161,189千円には、セグメント間取引消去3,125千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△164,314千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。